



暮しの s.p.r.i.n.g

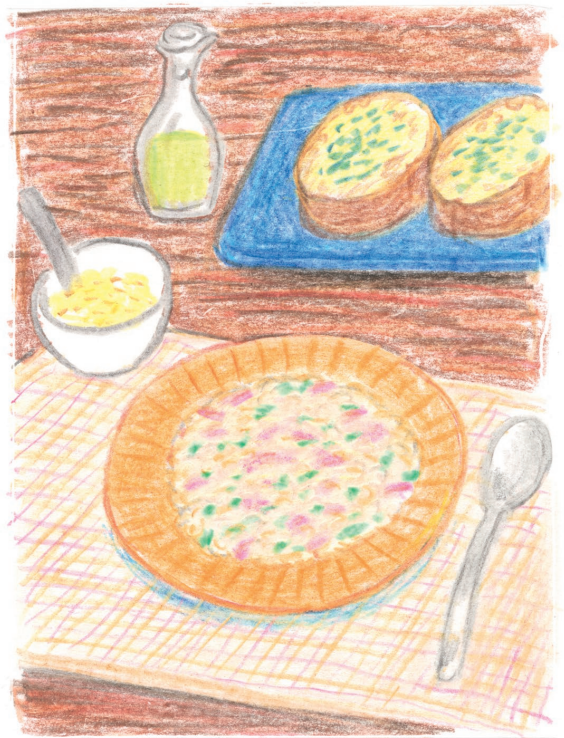
洋風の七草粥、七草リゾット

一月七日は五節句の一つ、人日の節句で七草の節句とも呼ばれます。この日の朝に、春の七草（セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ）を使ったお粥（七草粥）を食べる風習が残っています。ここでは、オリーブオイルや粉チーズ、ブイヨンを使った洋風の七草粥、七草リゾットをご紹介します。お節やお酒で疲れた胃腸にも優しい一品。七草粥と同様に、一年の無病息災を願っていただきますよう。

用意するもの (2人分)

- ・七草セット 1パック
- ・米（洗わず使う） 1合
- ・ブイヨン 400cc～450cc
鍋で湯を沸かし、コンソメ（固形でも顆粒でも）を用法の通りに溶く。
- ・にんにく（みじん切り） 1片
- ・玉ねぎ（みじん切り） 1/2コ
- ・ベーコン（1cm幅に切る）3枚
（ハムやソーセージでもいい）
- ・オリーブオイル 大さじ1
- ・オリーブオイル（仕上げ用） 少々
- ・粉チーズ 大さじ1
- ・粉チーズ（仕上げ用） 少々
- ・塩、こしょう 少々
- ・フライパン
- ・計量カップ
- ・計量スプーン
- ・しゃもじ
- ・お玉

など



2 フライパンを火にかけ、オリーブオイルを入れ、にんにくを炒め、香りがたったら玉ねぎとベーコンを入れて炒める。



1 セ草のかぶと大根を食べやすい大ききの薄切りにする。葉はみじん切りにする。



3 玉ねぎがしんなりしたら、かぶと大根、米を入れ、米が透き通ってきたら、ブイヨンを入れ、ふたをして中火で14分ほど煮る。



4 米の硬さをみて、よければ粉チーズとセ草を入れてまぜ、しんなりするまで煮る。



6 器に盛り、粉チーズをかける。



5 仕上げにオリーブオイルを回し入れ、塩・こしょうで味をととのえて、でき上がり。



【落語家】

古今亭 圓菊

さん



INFORMATION
「えんぎく・ぎんざ・らいぶ」三代目 古今亭圓菊
CD 2枚組:2500円(税込)好評発売中!
ご購入ご希望の方はこちらまで
info@engiku.com



写真=柴田愛子/浅草演芸ホール、浅草東武ホテル

「昭和の名人」五代目 古今亭志ん生の愛弟子として「爆笑王」の名をほしいままにした二代目を父に持つ、落語界のサラブレッド三代目 古今亭圓菊師匠に、学校じゃああんまり教えてくれない楽しいお喋りを伺った。

良い着物が着たくて噺家の道へ

——幼い頃からお父様を見ていて、噺家になろうと思われたんですか？

圓菊 いや、そうではなくて、ただ着物が着たかったんです。幼い頃から衣紋えもん掛けに父の着物が掛けてあるのを見ていて、それも高座着ではなく、お客様の宴席へ着て行くような高価たかそうな「よそ行き」がね。それに憧れましてね、ああいいう着物を着る仕事につきたいなあと思っていましたよ。

——それはおいくつくらいのお話ですか？

圓菊 高校に入って、ちよいと色気づいた頃ですね。それでまず思いついたのが歌舞伎役者！ まあまあ、おこがましいのはわかるんですが、一応考えたの（笑）。

Human Report

…… 人間大好き ……

416

ですが、あそこはどうも血筋がね、良いといかないことに気がついた。次は近

くに相撲部屋があるんで関取かなとも思いましたが、体格を考えるとこれもないなど。いつそ呉服屋になるかと見に行きましたら、お店の方は着物なんぞ着てないんですね。じゃあ、やっぱり手っ取り早くて、やれそうなのは噺家か、ということになりましたね（笑）。

——名門「古今亭」ですから、血筋は大威張りですね。

圓菊 ええ、ただどうちの親父は頑固な人ですから、絶対に息子を弟子に取らないのは、はなっからわかっていたんです。——そんなもんですかね、本音ではお父様は嬉しかったんじゃないですか。

圓菊 喜ぶわけありませんよ。親父は自分が苦労してきた道を息子には継がせた

くないと思っていたんですから。

——それはおいくつの時ですか？

圓菊 高校2年の時です。

——お父様はなんとおっしゃいました？
圓菊 「一日考えさせてくれ」って言うって、うまく断る理由を考えていたんでしょうね。「悪いけど他の弟子の手前やりにくから勘弁してくれ」って言うんですよ。その頃、方々の演芸場でいろんな噺家さんを見ていたんで、弟子入りするならこういう人を実はもう決めていたんですよ。

——どなたです？

圓菊 テレビの『お笑いタッグマッチ』に出ていた四代目の柳家小せん師匠。あのいかにも軽い、とぼけた味が大好きでね。そうしたら親父が、「あっちは柳家で、こっちは古今亭なんだから、そりゃあまずい！」と（笑）。古今亭なら志ん馬師匠が

●ここんてい えんぎく

1970年東京都墨田区に生まれる。安田学園高校在学中に、実父である二代目古今亭圓菊門下入門。88年前座名「菊司」で初高座、兄弟子の古今亭志ん彌の元で修業を積む。92年「菊翔」に改名して二ツ目、2002年真打に昇進し「菊生」を名乗り、21年には亡き父の名跡を継ぎ「三代目古今亭圓菊」を襲名。演目は古典だけでなく、三遊亭圓文作や自作の新作と幅広い。趣味はヘラブナ釣りとキャリア35年以上のサーフィンで、「落語協会サーフィン部」の部長でもある。



古今亭圓菊師匠メールマガジンのお知らせ
 「圓菊 Third zo! 〜 エンギク さあ どうぞ! 〜」
 毎月好評配信中! 登録ご希望の方は QR コードから、
 あるいは下記の third-zo-apply@engiku.com まで!

※注 『悲しみは埼玉に向けて』: 三遊亭圓丈自
 作自演の新作落語。東武伊勢崎線の車内
 風景から沿線の様子を描く。[19時43
 分発、準急新栃木行きの発車のベルはまだ
 鳴っている...] というフレーズが話中
 にブリッジのように挟まれ、印象的な効
 果を生み出している。

いいって言ったんですよ。TVドラマで
 『意地悪ばあさん』をやられた六代目です。
 そうしたら「あいつとは一門で一番仲が
 悪いから借りはつくりたくない」って
 (笑)。結局、親父のところに入ることに
 なったんです。

——稽古はお父様から直々に?

圓菊 まず外で修業しろということ、
 前座の4年間は兄弟子の古今亭志ん彌師
 匠のところに通っていました。二ツ目にな
 って初めて志ん彌門下から圓菊門下に入
 って「菊翔」を名乗ったんです。それが
 なぜか、私だけ「菊」の字の草冠の間が離
 れている古い「サ」なんです。

——それはまだどうして?

圓菊 親父がね「親元を離れて志ん彌に
 育ててもらったんだから、俺の弟子なん
 だけど、正確には俺がここまでにした弟
 子じゃあないよ」という意味で、草冠の間
 を離れた「菊」の字なんだ」って言うん
 ですよ。

——また、洒落が効いていますねえ。

「二刀流」ならぬ「二足のわらじ」

——高座では亡くなられた三遊亭圓丈師
 匠の新作なども演じられていますね。



圓菊 ええ、圓丈師匠の作品以外にも、若
 い頃から自分で新作落語を作ってはいた
 んです。ある時、圓丈師匠に「いいかい、脳
 は毎日死んでゆくんだから、生きている
 うちに先々のために、思ったことを作品
 として残しておきなさい」って言われた
 んです。

——お父様は大師匠譲りの古典でしたね。

圓菊 ええ、親父は古典一辺倒でしたか
 ら、「どっちつかずになるから、二足のわ
 らじはやめろ」って言われました。いま
 なら「二刀流」だけど、その頃は「二足のわ
 らじ」(笑)。圓丈師匠に訳を話したら、自
 作がダメなら俺の噺をやれって言っ

すよ。圓丈師匠に噺を教わり、その場でア
 レンジを加えてこしらえていく、このコ
 ラボがまた楽しくて、楽しくて。

——本誌としては、圓丈師匠の代表作『悲
 しみは埼玉に向けて』^{※注}についてお聞きし
 ない訳にはいかないのですが。

圓菊 やっぱ、そうきましたか(笑)。確
 かに舞台は東武伊勢崎線の北千住発、新
 栃木行きの準急ですからね。でもあの噺
 はよく聞いていただければわかると思
 いますが、決して東武鉄道さんや足立区
 民、埼玉県民をディスっているわけでは
 なく、当時、沿線の足立区東保木間に住ん
 でいた圓丈師匠の「東武鉄道愛」に満ち溢
 れた名作なんです。圓丈師匠のお墨付
 きをいただいていますから、大事に語り
 継いでいくつもりです。

——長く練られた作品ですよ。

圓菊 それを聞いて安心しました(笑)。
 私は生まれも育ちも東武沿線の墨田区文
 花ですから、「東武鉄道愛」は圓丈師匠に
 も負けませんよ。何よりも東武鉄道は運
 賃が安い! 限られた小遣い銭の子ども
 にはありがたいことだったんですよ。

噺家は気楽な稼業ときたもんだ



——真打昇進は2002年で、その後お父様が亡くなられて、三代目古今亭圓菊を襲名されたのが3年前ですね。

圓菊 ええ、「圓菊」という名は大師匠の二ツ目の時の名なんです。親父は「圓菊」は真打の名前じゃあないから、俺で「止め名」にしたいと常々言っていたんです。私も親父の気持ちを守ろうと思っていたところ、当代の金原亭馬生師匠に「三代目になりなさい。君はなる人だ」と説かれまして、「実は止め名にしたいというのが親父

の遺言なんです」と答えたところ、えらく怒られて、「私たちは先代に大変お世話になった。その恩返しを君にしたいんだよ」と言われて、返す言葉もなく「精進します」とお受けした次第です。

——良い話ですねえ。近年の落語界は、聴き手も、演じ手も世代交代の時期にきているように思いますが、いかがですか？

圓菊 その通りですね。若い噺家は皆一生懸命で、周囲も「あいつは頑張っている」とか言うんですが、私は「噺家は気楽

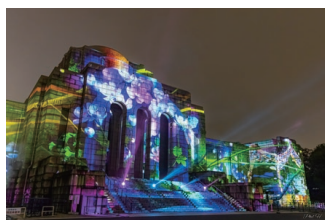
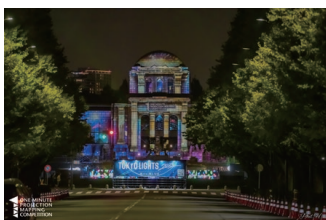
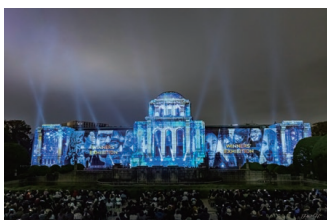
な稼業だな」と世間には思わせておいて、一生懸命な姿を見せちゃいけないと思うんです。落語界全体で言えば、いまちょうどチャンスが巡ってきたと思っているんです。例えば古典落語では「トイレ」のことを「雪隠」とか「厠」、あるいは「憚り」と言いますね。しばらく前ならお客様にわかるように「お手洗い」と言っていたんですね。でもそれでは噺の間が狂ってしまうから、古典落語を演じる場合は「憚り」のままでもいいんです。なぜなら、いまは皆さんスマホやタブレットをお持ちだから、すぐにネットで「憚り」を検索して、「ああ、トイレのことなのか」とわかっていただける。つまり、聴いて笑う楽しみと、調べて識る楽しみと二度楽しめる、そんな時代になったことは、古典落語にとって大チャンスだと思うんです。

——最後に今後の抱負を聞かせてください。

圓菊 襲名はしましたが、正直この3年はまだ「菊生」を引きずっていたんです。特に何かをしようという具体的な計画がある訳ではないのですが、今年は真新しい気持ちで、「三代目古今亭圓菊」としての第一歩を踏み出していききたいと思っています。



文・片山喜康



写真提供：一般財団法人プロジェクションマッピング協会

プロジェクション マッピング 初体験記

プロジェクションマッピングによるライトショーは、近年急速に盛んになり、全国各地で開催されている。と書いてはみたものの、私はこれまでプロジェクションマッピングを実際に見たことがなかった。

しかし、幸運にもその機会が突然やってきた。本誌2023年11月号の「ヒューマンリポート」のページで、プロジェクションマッピング協会の顧問を務める町田聡氏にインタビューすることになったのである。(https://www.tobu.co.jp/monthly/参照)

町田氏は40年来の旧友だが、初めてお会いした頃、彼はあの伝説のディスコ「赤坂ムゲン」の舞台照明担当だった。「赤坂ムゲン」と言っても、お若い方たちはご存知ないと思うが、70年代の東京の夜を語る時、欠かせない懐かしい名前である。ダンスフロアでは若者たちが踊り狂い、国内外の一流ミュージシャンが演奏を繰り広げる熱いステージを「リキッドライト」などの最新の照明設備が怪しく照らし出していた。そしてその担当が若き町田氏だったのである。

前置きが長くなったが、昨秋11月、町田氏のお誘いで明治神宮外苑聖徳記念絵画館で開催された「Tokyo Lights 2023」のメインイベントであるプロジェクションマッピング国際大会優勝者エキシビジョンを観に行ってきた。秋の陽が落ち、夕闇が迫る絵画館前広場には様々な光り輝くオブジェが展示され、多くの人で賑わっていた。取材の役得で、案内されたのは絵画館のすぐ前という最高の席。

今回の優勝者エキシビジョンは、コンペティションの歴代優勝者10組がこの日のために制作した最新作品である。

幻想的な音楽とともに次々に現れては消えていく美しい映像はまるで夢のように短く過ぎ去り、音が止んだ時、眼前の闇の中に壮大な絵画館だけが建っていた。

Profile:

●かたやま よしやす(ライター・編集者)

東京浅草生まれ 向島で編集事務所を営むかたわら随筆・俳句を執筆。著書に『北斎さんぽ』『花と俳句の東京散歩』、監修作品に『浅草本』、編集作品に『桜の文学史』など。趣味は美術館、古書店、寄席巡り。最近では増田龍雨、萩山梓月、柴田宵曲などの明治期の俳句を読み漁っている。

初晴の空の下で 草加宿七福神めぐり



明けましておめでとうございます、あずまです。今年もよろしくね。お正月に、お友だちと一緒に「草加宿七福神めぐり」に行ってきました。ここは最後にめぐった東福寺（毘沙門天）。本堂・山門・鐘楼はみな江戸後期のものだそうです。このお寺から駅までは「歴史散策路」になっています。（MAPの④）

今回の登場人物



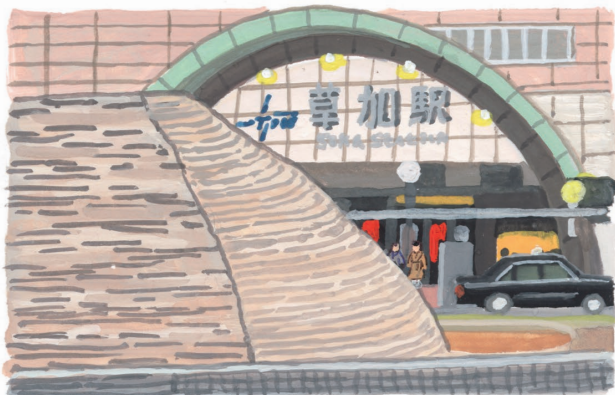
松原早苗
あずまの
短大時代からの友人。
海外旅行と
料理が趣味



栗橋友子
あずまの
短大時代からの友人。
越谷市に暮らす
保育士



業平あずま
業平家の長女。
母が経営する小学生向けの
英会話教室を手伝う。
趣味は旅行



東武スカイツリーラインの草加駅。北千住から急行で10分。
「草加宿七福神めぐり」の最寄駅の一つ。駅直結の「草加
VARIE」が、昨年11月にリニューアルオープン。1899年開設。

草加（そうか）

七つの社寺を巡拝すると七つの福徳が授かる七福神めぐり。これまでも東武沿線各地の七福神めぐりを紹介してきましたが、2024年最初に紹介するのは「草加宿七福神めぐり」です。日光街道第二の宿として歴史を持つ草加ですが、七福神めぐりの歴史は意外と新しく、2001年から始まり今年で24回目。1月1日〜7日（9時〜16時）に開催されます。もちろん期間が過ぎても、七福神めぐりにちなんだ草加の街歩きは楽しいですよ。





旧日光街道を北へ向かって歩いて行くと、「日光街道・葛西道」と刻まれた石の道標が。草加宿と現在の江戸川区葛西を結ぶ古道があったんですね。ここは、その道標の近くにあった「三峰神社(寿老人)」です。(MAPの©)



「草加宿七福神めぐりスタンプラリー」を草加駅からスタート!ちなみにスタンプラリーの台紙は、各寺社に置いてありますよ。順路は自由です。ここは最初に行った「回向院」(布袋尊)です。(MAPの®)



ランチに入ったのは「蔵カフェ中屋」というお店。国の登録有形文化財にもなっている建物です。人気の特製ハンバーグや和牛すじ入りカレーをいただきました。食後は冬季限定のホット抹茶ラテを。(MAPの®)



次にやって来たのは「八幡神社(恵比寿)」。大きな雌雄の獅子頭が見られます。7月には御神輿渡御のほか、子どもみこしや引き太鼓(小学4年生以下)など、子どもが活躍できる祭れが行われるようです。(MAPの®)

くには回向院(布袋尊)と三峰神社(寿老人)があります。旧日光街道を北に歩いていくと八幡神社(恵比寿)。街道に面して小さな鳥居が建ち、そこから参道……というより住宅街の路地を分け入った奥に小さな社が鎮座しています。街道に面して建つ藤城家は明治から昭和初期の町屋建築で、国の登録有形文化財。風格ある趣の商家の外観は紛れもなくかつての宿場町の名残です。

旧草加宿の南の入口に建つ草加市役所の近くには回向院(布袋尊)と三峰神社(寿老人)があります。旧日光街道を北に歩いていくと八幡神社(恵比寿)。街道に面して小さな鳥居が建ち、そこから参道……というより住宅街の路地を分け入った奥に小さな社が鎮座しています。街道に面して建つ藤城家は明治から昭和初期の町屋建築で、国の登録有形文化財。風格ある趣の商家の外観は紛れもなくかつての宿場町の名残です。

草加宿七福神めぐりは文字通り、草加駅東口周辺の草加宿エリアを回るコース。旧日光街道の宿場町の昔懐かしい空気が濃厚に感じられます。歩く距離は概ね3km。無理なく気軽に街歩きが楽しめます。めぐる社寺の大半は小さな社や祠で「等身大の神さま」といった趣。路地の奥に鎮座する祠もあり、思いがけず路地裏散歩をすることも。なお、この七福神めぐりはスタンプラリーになっており、各社寺にスタンプと台紙が置かれています。完成した人には草加駅前前の草加市観光案内所で景品をプレゼント(1/4~1/7)。で

草加宿に鎮座する 等身大の神さまたち



「おせん茶屋公園」でしばし休憩したあと、伝右川の近くにあった「谷古宇稻荷神社(福祿寿)」にやってきました。5つめのスタンプを押します。(MAPの㉔)



ここは氷川神社(大黒天)です。近くには清水家と大川家の本陣跡の石碑がありました。つまり、ここが草加宿の中心だったということでしょうか。(MAPの㉕)



ここは草加宿の総鎮守「神明宮」です。七福神ではなく「七福神宝船」を祀ります。ですからスタンプは8つ必要! 近くには草加せんべいのお店がいっぱいで、お土産にも買いました。さて、次は東福寺です!(MAPの㉖)



伝右川と綾瀬川を渡って「出世弁財天(弁財天)」へ。舟運が栄えた江戸後期から明治初期に創建されたといわれています。近くには望楼や松尾芭蕉像、矢立橋がある草加松原の風景が見えてきます。(MAPの㉗)

さらに旧日光街道を進んでいくと、やはり路地の奥に氷川神社(大黒天)の小さな祠。すぐ近くに本陣跡碑があることから、この付近が草加宿の中心部だったと推察できます。

ここから東に向かって歩いていくと、住宅地の奥に谷古宇稻荷神社(福祿寿)の社。「谷古宇」とは草加宿ができる前のこの辺りの村の名前です。この神社の裏手には伝右川、並行して綾瀬川が流れており、上流へ歩いていくと神明排水機場に出ます。伝右川と綾瀬川を結ぶ堰ですが、この川風景を眺めながら橋を渡って綾瀬川の対岸へ。川沿いに建つ朱色の小さな鳥居は出世弁財天(弁財天)。さらに歩いて谷古宇橋を渡ると、草加松原のシンボル・矢立橋の真下。かつて舟運で栄えた綾瀬川の河岸の面影を再現した札場河岸公園に出ます。草加松原を一望する望楼や草加に縁が深い松尾芭蕉像、正岡子規句碑などがあり、奥には煉瓦造りの甚左衛門堰。現在の神明排水機場の明治時代の姿なのです。

草加宿七福神めぐりでは、七福神のほかにもう1カ所の社寺をめぐる。それは神明宮。ここで宝船のスタンプを押すのです!

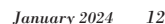
そしてゴールは東福寺(毘沙門天)。草加宿七福神の中で唯一大きな社寺で、草加市の指定文化財が多くあります。

草加松原の矢立橋と 綾瀬川の札場河岸公園



●開催時間＝9:00～16:00

☎ 048-928-3266



お知らせ 読者アンケート ご協力をお願い

東武鉄道

日頃よりマンスリーとーぶをご愛読いただき、ありがとうございます。

この度、よりよい誌面制作の参考にさせていただきたく、アンケートを実施いたします。アンケートは右記のURL、またはQRコードよりご回答ください。

アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で15名様に図書カード1000円分をプレゼントします。

今後も、これまで以上に皆様にとって楽しく、そしてためになるコンテンツをお届けしていきますので、ぜひ

ご意見・感想をお聞かせください。

■実施期間：2024年1月1日(月)～1月31日(水)

■所要時間：約5分

■URL：<https://forms.gle/7FEV7w4QkbrurNtW7>



イベント ライトアップイベント「東京下町回遊 竹あかり」が開催中！

東武鉄道

詳細はこちら▶



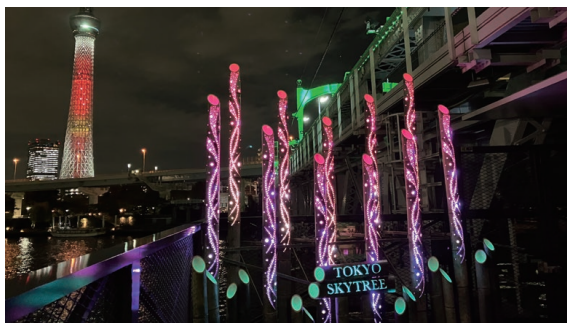
1月31日(水)までの間、東京スカイツリータウン®エリアと浅草エリアを竹あかりのやさしい光で灯すイベント「東京下町回遊 竹あかり」を開催しています。

竹あかりは、社会問題となっている放置竹林の竹を活用し、すみだリバーウォーク®では、東京スカイツリー®をバックにした幻想的な竹あかりを、隅田公園そよ風ひろばでは、本年7月にデビューした「スぺーシア X」をモチーフとした竹あかりをお楽しみいただけます。

また、昨年好評だった牛嶋神社、東京ミズマチ®に隣接する北十間川親水テラスでのイルミネーションを実施しています。

加えて、1月28日(日)には、隅田公園そよ風ひろばにて地域の飲食店が多数出店するナイトマルシェを開催します。

竹あかりで灯された夜の東京下町をぜひお楽しみください。



△すみだリバーウォーク「竹あかり」(イメージ)



△隅田公園「竹あかり」(イメージ)



△牛嶋神社「竹あかりライトアップ」(昨年の様子)



△イベント マップ



エキア 食物販店や飲食店が充実した「EQUIA 越谷」がオープン！

東武鉄道

詳細はこちら▷



昨年12月7日(木)、東武スカイツリーライン 越谷駅高架下に、商業施設「EQUIA 越谷」がオープンしました。

本施設では、駅をご利用になるお客様の暮らしに寄り添う店舗を中心に、「東武ストア」や「グロサリーショップ「ジュピター」、沿線初出店となる「イクアウト専門

店「サーティワンアイスクリーム ToGo」のほか、食物販店や飲食店など6店舗を揃えました。

建物は、エントランスの軒部に天然木材を使用し、ぬくもりのあるファサードでお客様をお迎えします。

「EQUIA 越谷」へぜひお越しください。



△ EQUIA 越谷



旬のいちごが楽しめる！ いちごフェア開催！

東京スカイツリータウン®

東京スカイツリータウンでは、1/12(金)～2/29(木)までの期間、「いちごフェア」を開催します。

旬のいちごをふんだんに使用したスイーツをはじめ、デザートワゴンやドリンクなど様々なメニューをお楽しみいただけます。他にも、思わず食べたくなってしまうようないちごをモチーフにした可愛いグッツも登場します。



©TOKYO-SKYTREE
©TOKYO-SKYREETOWN

また、地下3階の特設会場では、注目のいちごスイーツやギフトを販売します。お出かけやお帰りの際にお気軽にお立ち寄りください。



△キル フェ ボン



旅気分を味わえる、 「ぐるめぐり 冬の大北海道展」開催！

東武百貨店 池袋本店

東武百貨店 池袋本店では、1月6日(土)から22日(月)までの17日間「ぐるめぐり 冬の大北海道展」を開催します。1週目と2週目で会期を分け、切り口を変えてお届けします。

1週目は、1年に1度の品評会「第39回 十勝和牛枝肉共励会」で最優秀賞を受賞した「十勝和牛」のステーキ弁当や、希少な根室産・釧路産の「タラバガニ」の海鮮弁当など特選素材を使用したグルメをご提供します。2週目は、道産牛乳使用のシュークリーム、プリンなどのスイーツに注目です。そのほか、お食事処では寒い季節にぴったりなラーメンをご用意します。

東武百貨店限定の「今だけ」「ココだけ」北海道グルメをお楽しみください。



△鱈幸食品



△岩瀬牧場

詳細はこちら▷





2023年度異常時総合訓練を実施しました

東武鉄道

東武鉄道では、踏切事故などをはじめとした異常時における対応能力の向上を図ることを目的に、1965年から異常時総合訓練を実施しています。

昨年も、10月17日(火)に森林公園検修区(東上線)、10月31日(火)に南栗橋車両管区(日光線)で、東武グループ関係各社および消防関係者の方にもご参加いただき、それぞれ実施しました。

10月31日の南栗橋車両管区訓練線における訓練で

は、踏切遮断桿を突破し進入してきた乗用車と列車が衝突し、お客様に負傷者が発生した想定のもと、東武グループ関係各社および協力会社のほか、埼玉東部消防組合消防局と連携し、異常時における対応方法について確認しました。

今後も訓練等を通じて、異常時への対応能力の向上を図るとともに、安全運行に努めてまいります。



△負傷者を車外に救出する訓練



△破損した架線を復旧する訓練



12月3日(日)に「東武ファンフェスタ」を開催しました！

東武鉄道

当社では、昨年12月3日(日)に、南栗橋車両管区にて「2023 東武ファンフェスタ」を開催しました。

日頃より東武鉄道をご利用いただいているお客様や東武鉄道ファンの皆様への感謝を込めたファンイベントです。

当日は事前にエントリーいただいた約10,000名のお客様が来場され、鉄道グッズの販売や車両撮影会のほか、新型特急「スペーシア X」の座席の展示やオリジナルグッズの販売などでにぎわいました。

今後も当社ではお客様に楽しんでいただけるイベントを開催してまいります。



向島文化サロン
メディアが映す世界、日本

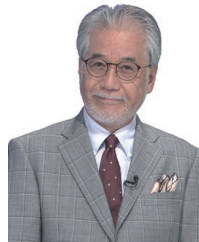
東武博物館

テーマ①メディアとは？その進歩と将来
②メディアは正しい情報を伝え
ているか？

③3月17日(日) 14:00～15:30

講師 法政大学名誉教授 萩谷順

国内政治、国際政治を取材してきた新聞記者、そしてテレビキャスター、コメンテーター、大学教員としての経験から、メディアを解き明かします。



萩谷順氏

定員 110名(応募多数の場合は抽選)

※政府自治体の要請により、定員を変更する場合があります。

④無料

東武博物館ホール(東武スカイツリーライン「東向島」駅下車すぐ)

応募条件 ①・②の講演は2回1セットの応募となります(個別の応募はできません)。
応募方法 ハガキに講演名、お客様の氏名(フリガナ)・年齢・郵便番号・住所・電話番号を記入の上、お申し込みください。

締切 1月17日(水)必着 ※当選者には約1週間を日
途に、当選ハガキ(入場券)を発送させていただきます。

宛先 〒171-8512

東京都豊島区西池袋1-1-25

東武友の会「向島文化サロン」M係

☎03(5951)5248

主催 東武博物館

※ご応募いただきました個人情報、当選ハガキ発送以外の目的で使用することはございません。東武友の会 検索

根津美術館 企画展

「繻と織」
—華麗なる日本染織の世界—

1月28日まで

東京・南青山 根津美術館

豪快な古美術蒐集で名を馳せた初代根津嘉一郎(1860～1940)は、染織品も長年蒐集していました。本展覧会では、当館コレクションの礎を築いた嘉一郎の蒐集品を中心に、法隆寺や正倉院伝来の上代裂に始まり、仏教染織、能装束、そして江戸時代の小袖まで、幅広い時代の染織品の中から、織と刺繍の技が光る作品をご紹介します。同時開催展「中国の故事と人物」では中国の故事を題材とした人物画を、「寿茶会——来福を願う——」では新春を寿ぐ茶道具取り合わせもご覧になれます。

一年で最も大きな節目である年末年始、華やかかつ厳かな作品の数々をお楽しみください。



単衣 紫紹地御簾に猫草花模様
日本・江戸時代
19世紀 根津美術館蔵



寒山拾得図 芸愛筆
日本・室町時代
15～16世紀 根津美術館蔵
小林中氏寄贈

根津美術館 検索 休館日：～1月4日。展覧会会期中の月曜日(ただし1月8日(月・祝)は開館し、翌9日(火)休館)。1月29日から2月9日まで展示替え休館。

「薩摩切子展」

1月18日(木)～21日(日)
10:00～19:00 ※最終日は18:00閉場

東武宇都宮百貨店 宇都宮本店
5階イベントプラザ

鹿児島を代表する伝統工芸品である「薩摩切子」とは、江戸時代末期の薩摩藩でつくられていた色被せガラスによるカットグラス切子のことを言います。色ガラスの被せ方に厚みがあるのが特徴で、カットした断面に生まれる「ぼかし」と呼ばれる鮮やかなグラデーションが魅力です。

「薩摩切子」の歴史は幕末の動乱の中、いったん途切れますが、昭和末期の復興事業により制作が再開されます。この復興事業の中心人物の一人であった、栃木県旧氏家町出身の吹きガラス職人加藤征男が鹿児島県さつま町に設立した工房が薩摩びーどろ工芸の工房です。江戸期の意匠を再現した復元品や、現代の技法・感覚をとり入れた創作品を数多く制作しています。この機会にぜひともご高覧ください。



江戸時代の復元品の代表作「猪口(八角籠目)」。「ぼかし」が映える逸品。



2024年限定制作黒切子冷茶碗「心華(こはな)」。

ミュージアム

第88回企画展 地衣類一本を、岩を、地面を彩る身近な生きもの～

～ミュージアムパーク茨城県自然博物館

⑧ 1/21(日)まで 9:30～17:00

*土日祝日及び1/2(火)・1/3(水)は要事前予約

⑨ 月曜(1/8は開館)、1/9

⑩ 東武アーバンパークライン愛宕駅からバス

⑪ 一般 750円/満70歳以上 370円/大高 460円/中小 150円

☎ 0297-38-2000

ステージ

オペラ彩設立40年記念公演

オペラ『魔笛』ドイツ語歌唱・日本語台詞・字幕付 ～和光市民文化センター(サンアゼリア)～

⑧ 1/20(土)・21(日) 各 14:00

⑨ 和光市駅徒歩13分

⑩ S 11000円/A 9000円/B 8000円/C 6000円/学生 3500円 *特別学生券(高校生まで)2000円

*未就学児の入場不可

☎ 048-468-7771

『大誘拐』～四人で大スペクタクル～ ～シアター 1010

⑧ 中山優馬、柴田理恵、風間杜夫、白石加代子

⑨ 2/6(火)～11(日) 6日・9日=18:30、7日・8日・10日・11日=14:00

⑩ 北千住駅西口すぐ

⑪ 8800円

☎ 03-5244-1011

コンサート

第6回 足立区ギャラクシティ音楽 コンクール入賞者記念演奏会 ～オーケストラと夢の共演～

～西新井文化ホール

⑧ 1/21(日) 14:00～18:30

⑨ 西新井駅徒歩3分

⑩ 一般 500円/高校生以下無料

*演奏会に限り5歳以下入場不可

☎ 03-5242-8161

2024 サンシティ・ニューイヤー コンサート

～サンシティホール

⑧ 1/28(日) 15:00

⑨ 新越谷駅徒歩3分

⑩ A 一般 6000円(5400円)/B 一般 5000円(4500円) * ()内はシニア(60歳以上)料金、学生は各一般料金の半額

*未就学児入場不可 *S席は完売

☎ 048-985-1112

綾戸智恵 meets 新日本フィル ハーモニー交響楽団

～すみだトリフォニーホール

⑧ 1/30(火) 19:00

⑨ JR・東京メトロ錦糸町駅徒歩5分

⑩ S 8000円/A 7000円

*未就学児入場不可

☎ チケットセンター 03-5608-1212

イベント

初大師 だるま市 ～川越大師 喜多院

⑧ 1/3(水)

⑨ 川越市駅徒歩18分、川越駅徒歩20分

☎ 049-222-0859

初卯祭 うそ替え神事 初天神祭 ～亀戸天神社

⑧ 1/4(木)初卯祭、24(水)・25(木)うそ替え神事、1/25(木)初天神祭

⑨ 亀戸駅徒歩15分

☎ 03-3681-0010

いせさき初市(だるま市)

～伊勢崎市本町通りほか

⑧ 1/11(木)

⑨ 新伊勢崎駅徒歩5分

☎ 伊勢崎市観光物産協会 0270-24-5111

春渡祭(おたりやさい) 太々神楽

～宇都宮二荒山神社

⑧ 1/15(月)春渡祭、1/28(日)太々神楽

⑨ 東武宇都宮駅徒歩15分

☎ 028-622-5271

アート

春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、 中川一政から岡鹿之助へ

～栃木県立美術館

⑧ 1/13(土)～3/3(日) 9:30～17:00

⑨ 月曜(2/12は開館)、2/13

⑩ 東武宇都宮駅からバス

⑪ 一般 1000円/大高 600円/中学生以下無料

☎ 028-621-3566

高田純嗣 展

～川越市立美術館 1F タッチアートコーナー

⑧ 3/24(日)まで 9:00～17:00

⑨ 月曜(1/8、2/12は開館)、12/29～1/3、1/9、2/13

⑩ 川越駅からバス

⑪ 無料

☎ 049-228-8080

若手歌舞伎俳優の登竜門

～新春浅草歌舞伎～

お正月恒例の「新春浅草歌舞伎」が、浅草公会堂にて上演されます。今年も尾上松也若手実力派俳優たちが揃い踏み。

演目は第1部(11:00～)が『本朝廿四孝十種香』、『与話情浮名横櫛源氏店』、『神楽謡雲井曲廻 どんつく』。第2部(15:00～)が『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』、『流星』、『新血屋舗月雨暈 魚屋宗五郎』。

今年は第1部・第2部とも出演俳優が開演前に行う、恒例の「お年玉(年始ご挨拶)」が、4年ぶりに復活します。

⑧ 1/2(火)～26(金)

* 1/8(月・祝)と19(金)は休演

* 1/21(日)第2部は「着物で歌舞伎」。

着物が登場された方には記念品を進呈。

⑨ 浅草公会堂(浅草駅徒歩5分)

⑩ 1等席 9500円/2等席 6000円/3等席 3000円

*学割、外国人パス ポート割引あり
☎ チケットホン松竹 0570-000-489



とっておきの癒し～「コニカミノルタプラネタリウム天空」



コニカミノルタプラネタリウム天空

in東京スカイツリータウン

東京ソラマチ イーストヤード7階 9番地

営業時間：平日 10:30～22:00

チケット販売時間 10:30～21:00

ショップ販売時間 10:30～21:00

土日祝日 9:30～22:00

チケット販売時間 9:30～21:00

ショップ販売時間 9:30～21:00

☎：03-5610-3043

URL：https://planetarium.konicaminolta.jp/tenku/

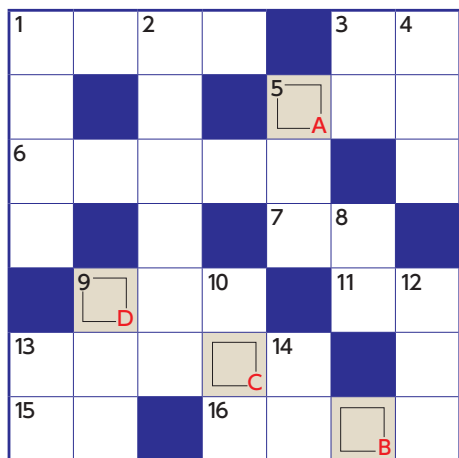
東京スカイツリータウンを訪れたらぜひ体感したいのが、大人のためのエンターテインメントプラネタリウム「コニカミノルタプラネタリウム天空」です。最新の3D音響「DOLBY DOME」(サウンド・ドーム)が創る幻想的な天空の世界は必見。人気の「ヒーリングプラネタリウム」では、星空と共にオリジナルアロマが香る、特別な癒しのひとときを楽しめます。

新作
「アラビアンナイトヒーリング」



ラズベリーフェア開催期間：
1月12日(金)～3月14日(木)

天の川銀河に漂う甘酸っぱい香りを楽しむ「宇宙はラズベリーの香り」フェアも1月12日～3月14日に開催。宇宙の香りをお楽しみください。
あなただけの特別な時間をプラネタリウム天空で過ごしてみませんか。



【応募方法】

クロスワードの答えと住所・氏名・年齢・電話番号・本誌の入手先を書いて、以下の宛先へ。
〒131-8522 東武鉄道広報部「マンズリークロス」係(住所不要)正解者の中から抽選で10名様に図書カードをプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。締切は1月20日(土)当日消印有効です。

※ご応募いただきました方の個人情報は、「マンズリークロス」当選者への賞品発送以外の目的で使用することはありません。

ホームページからもご応募いただけます。

マンズリーとーぶ 検索

☆12月号の答え 『カンツバキ』



マンズリークロス

図書カードが当たる!!

※ヒントを読んでマス目をうめ、A～Dの文字をアルファベット順に並べてください。それが答え。

●タテのカギ

- 草加宿七福神めぐりで恵比寿を祀る〇〇〇〇神社
- 草加宿七福神めぐりで〇〇〇〇〇〇〇を祀る出世〇〇〇〇〇〇〇
- 海老で〇〇を釣る
- 〇〇〇梅、〇〇〇鉢巻
- 漢字では「麻疹」と書く、感染力がものすごく強い病気
- 〇〇は食わねど高楊枝
- 早口言葉。隣の〇〇〇はよく柿食う〇〇〇だ
- 子どものことを、英語でこういうことも
- 今年の1月8日は『東方見聞録』で有名な冒険家、〇〇〇・ポーロの没後700年
- 敵に〇〇を送る
- 魚は〇〇呼吸

●ヨコのカギ

- 漢字では「繁縷」と書く、春の七草の一つ
- 苦は楽の〇〇
- 今年の1月6日は、アニメ「アルプスの少女〇〇〇」が放映を開始して50周年
- ボケとツッコミがいる二人組
- 春の七草でスズシロは大根、スズナは〇〇のこと
- 迫力とノスタルジー。SL大樹の〇〇〇の音
- 取り付く〇〇もない
- スキーのジャンプ台
- 〇〇手、〇〇座敷、〇〇歯
- サザエさんが追いかける、お魚をくわえているもの

「人のために、ひとつひとつ。東武鉄道」ポスターギャラリー

2013年秋から始まったこのシリーズは、東武グループの様々な職場で働く社員の“仕事への想い”をお伝えしています。自身の家族に語りかけられるようなキャッチコピーが、お客様の共感を呼び、「また見たい」とのご要望をたくさんいただいています。今号では2020年3月から掲出の27作品目となる「運輸（車掌）篇2」をご紹介します。



夢は走りつづけている。
止まっていたのは私だ。

鉄道員は、夢だった。
40歳。このまま、夢を諦めたまま、
人生を送るか迷ったとき、踏みだすことを決意した。
電車の最後尾にある小さな仕事場。
私は、お客さまに一番近いこの空間が好きだ。
車掌の仕事は、ドアの開け閉めだけではない。
安全確認、車内放送に、車内の温度の管理。
数えたらきりが無い。
遅くして夢を走らせた私を、母が一番よろこんだ。
私が夢をかなえること、
それが母の夢だったのかもしれない。



人のために、ひとつひとつ。 東武鉄道

※本ポスターギャラリーは、東武鉄道ホームページからもご覧いただけます。 https://www.tobu.co.jp/corporation/rail/poster_gallery/

今号で紹介した内容は変更になる場合もございます。それぞれのお問い合わせ先にご確認ください。

マンスリーとーぶ 2024年1月1日発行（毎月1日発行）第895号

発行 東武鉄道広報部 〒131-8522 東京都墨田区押上 2-18-12

東武鉄道お客さまセンター ☎ 03-5962-0102 ©東武鉄道 2024 Printed in Japan

※ QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●表紙／Takefumi Suzuki ※イラストはイメージです。

和漢ハーブとソルトの恵みで、お肌に潤いを。

日本で親しまれる東洋ハーブを“和漢ハーブ”として、もっと多くの方へ。

艾葉(ヨモギ)、柿葉、生姜、ドクダミなど和漢ハーブとソルトを配合した、生活の木が提案する新しい入浴料。

やさしい和漢ハーブの香りにつつまれながら、冬のお風呂時間を楽しみましょう。

[生活の木] 和漢塩湯(合成香料、合成着色料、防腐剤不使用) 1包 550円・6包 1,980円



東武百貨店 池袋店 6F 2番地 生活の木

※表示価格は「消費税込み」の価格です。

TOBU

池袋 東武

<https://www.tobu-dept.jp>

豊島区西池袋1-1-25 〒171-8512

ナビダイヤル/0570-086-102
通話料はお客様負担となります。

営業時間: B2F~3Fは午前10時~午後8時、4F~8Fは午前10時~午後7時
6F(3・4番地)・7F(9~11番地の一部)・9F・10Fは午前10時~午後8時

休業日のお知らせ: 1月1日(月祝)

【新春の営業時間】※営業時間は変更となる場合がございます。

1月2日(火)=午前9時30分~午後6時 1月3日(水)=午前10時~午後6時